

「先生、めざしてみようかな」
“今”のあなたにあった採用試験を、京都府で
～令和8年度京都府公立学校教員採用選考試験の特徴・変更点～
(令和7年度実施)

多様な人材によって学校の活性化を図るとともに、より多くの方に京都府の教員をめざしてもらえるよう制度の一部を変更しますので、お知らせします。

大学3年生を幅広く募集

■ 大学3年生等チャレンジ選考 **拡大**

校種・教科を限定して実施していましたが、令和7年度に実施する試験においては、一般選考で実施するすべての校種・教科で実施します。

対象校種・教科

- ・小学校
- ・中学校（国語、社会、数学、理科、技術、外国語（英語））
- ・高校（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語（英語）、情報）
- ・特別支援学校

今まで

一般選考で実施する **すべての校種・教科** で実施

○大学3年生等チャレンジ選考とは

一般選考の第一次試験※のうち、一部または全部を選んで受験でき、一定の基準を満たしたものについては、令和9年度採用選考試験で免除が可能。

※ 第一次試験：小論文、教職教養、専門、面接試験の4つ

今から免許取得をめざす社会人の方に

■ 社会人経験者特別選考（教員免許取得猶予） **新規**

- ・対象校種・教科：一般選考で実施する校種・教科
- ・試験内容：一般選考と同じ
- ・受験要件：志願する校種及び教科の普通免許状を有しない方かつ民間企業、官公庁等における常勤としての職務経験が通算して2年以上ある方

合格後、免許取得まで最大2年間、採用を猶予



教員免許をとって
先生になりたい

仕事をしていると
休みの日に勉強はできても
教育実習に行けない

採用されるかわからないのに
仕事は辞められない…

採用試験に合格してから
教育実習に行くことも可能！

持っている資格を活かして

■ 登録日本語教員資格所持者に対する加点措置 **新規**

日本語指導が必要な児童生徒に対応するため、登録日本語教員資格所持者は、専門（一次試験）に10点加点

■ 英検1級等の資格所持者に対する実技試験免除 **新規**

中学校・高校の外国語（英語）について、「CEFR C1」相当の資格を有する方は、現在の専門（一次試験）の免除に加え、実技試験（二次試験）を免除

教科	資格	基準	専門	実技
中高英語	TOEFL iBT	92点以上	免除	(受験)
	TOEIC L&R	860点以上		
	英検	1級		



教科	資格	基準	専門	実技
中高英語	TOEFL iBT	95点以上	免除	免除
	TOEIC L&R/S&W	1845点以上		
	英検	1級		

■ 情報技術資格所持者に対する専門免除・加点措置 **新規 拡大**

高校の情報について、「応用情報技術者試験」合格者は専門（一次試験）免除
上記以外の校種・教科については、専門（一次試験）に10点加点

加点措置	小・中・高・特	「基本情報技術者試験」又は「応用情報技術者試験」に合格した方	5点
------	---------	--------------------------------	----

【令和8年度教員採用試験】

専門免除	高（情報）	「応用情報技術者試験」に合格した方	専門
加点措置	小・中・高（情報除く）・特	「基本情報技術者試験」に合格した方	5点
		「応用情報技術者試験」に合格した方	10点

その他、多様な人材確保のための特別選考や受験者の負担軽減を実施

■ スペシャリスト特別選考・セカンドキャリア特別選考の実施 **継続**

教員免許がなくても専門的知識・経験や技能を有する方を対象に、特別免許状を活用して実施する特別選考【中学校：理科、高校：理科・保健体育・情報・農業・工業・水産で実施】

■ スポーツ・芸術分野特別選考の実施 **継続**

スポーツや芸術で優れた実績を有する方（指導者を含む）を対象に、書類選考を実施し、合格した方は小論文と教職教養を免除【高校の全教科で実施】

■ 大学推薦特別選考の実施 **継続**

優秀な人材を確保するため、受験生の人柄や能力を把握している大学からの推薦により、1次試験の「教職教養・専門」を免除【小学校・中学校・高校・特別支援学校で実施】

■ 実技試験（中学校家庭、高校家庭、高校情報）の廃止 **廃止**

受験生の負担を軽減するため、中学校の家庭、高校の家庭・情報の実技を廃止

※詳細は3月中旬に募集要項で発表します。

【本報道発表に関するお問合せ】

京都府教育庁管理部 教職員人事課 課長 吉岡 伴幸 TEL 075-414-5803